

# 米沢興譲館高校SSH通信

## 卓越研究者の素養を育んだ一年間「城戸淳二塾」第一期塾生修了



高校生段階から大学での先端的な研究にたずさわり通常の高校生活では得られないような科学に係わる様々な体験をしていく「城戸淳二塾」は、山形大学工学部城戸淳二教授より指導・コーディネートをしていただく取り組み。本塾は、本校SSH諸活動における「将来、ノーベル賞受賞を囑望されるような卓越研究者の素養を育む」取り組みに位置付けている。昨年度の2年生(現3年生)は自身が希望した各研究室に配属され、大学教員の指導の下、同大の学生と一緒に研究を行う等の活動を進めた。

5月28日、山形大学工学部にて13年度の修了式と14年度の入塾式が実施された。城戸教授は3年生一人一人に修了証書を手渡した。その後、1、2年生の入塾を許可し、「高校の教科書では学べない最先端を感じてほしい。成功にたどりつくためのきっかけやコツを伝えていきたい」と挨拶した。

入塾の宣誓をしたコアSSHクラブ2年生の佐野舜一君は「バイオ工学の分野に興味がある。発表に向けて英語の勉強も頑張っていきたい。」と意気込みを述べた。1年生は今年度一年間様々な研究室を見学し、研究領域の説明を受ける。

## 一年FS いよいよ始動

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 人間社会とロボット        | 出版と技術の歴史         |
| 人間生活と化学          | アートを科学する         |
| 工学と医療            | スポーツ・保健とライフサイエンス |
| 伝統野菜へのサイエンスアプローチ | 社会と科学            |
| つながりの科学          | 英語発音と科学          |

SSH指定も3年目に入り、1年生が自身の興味・関心の高い領域を選択し通年で学んでいく本取り組みFSも学校の学びの手法の一つとして随分定着してきた。5月22日、今年度も上記10領域に分かれてのオリエンテーションが行われた。目を輝かせながら説明を聞く生徒の様子が印象的だった。



### プレゼンテーションとは「プレゼント」

### プレゼンテーション及び文書作成技法講座

本校SSHに係わる学校設定教科に「サイエンスコミュニケーション(SC)」がある。この教科は、研究成果を伝える研究論文や発表には欠かせない表現力の育成を目的としている。

5月8日、本校図書室を会場として、2年生理数科生徒を対象に山形大学基盤教育院 山本陽史教授による「プレゼンテーション及び文書作成技法講座」がSC1の時間に実施された。山本教授は米Apple社の元CEOである故ステイブ・ジョブス氏のキーノート等を事例にあげながら、短い文章で端的な内容にまとめることや論理的に説明する手法を生徒達に伝えた。本講座は継続的に実施され、次回6月24日には、生徒が実際に書いた文章を教授自ら添削指導にあたる。

6月の主な学校行事とSSH予定		
4日	木	身体測定、芸術鑑賞
6日	金	県高校総体(～8日)
10日	火	3年SS(スーパーサイエンス)Ⅱ①
12日	木	体育祭(～13日)
17日	火	3年SSⅡ②
18日	水	1年フィールドワーク研修(FW)Ⅰ(1～3組)
19日	木	1年FWⅡ(4, 5組)
23日	月	1年異分野融合サイエンス(FS)コース別講義・研修①
24日	火	3年SSⅡ③

### 豊かで潤いのある地域社会を目指し、教育や文化を大切に育む

今年度、本校は公益信託内銀行ふるさと創造基金に採択された。事業名は「子ども達に伝える!『科学の面白さ』高校生科学コミュニケーションによる地域の科学教室」で、地域の子ども達に科学を通して学ぶことの楽しさを伝えていきながら、自分達も伝える力を養おうという内容だ。SSH指定校ということもあり、科学を通して地域貢献できればと考えている。

公益信託内銀行ふるさと創造基金 贈呈書  
山形県立米沢興譲館高等学校 様  
助成額 金200,000円也  
豊かで潤いのある地域社会を目指し教育や文化を大切に育む活動に対し助成金を贈呈いたします  
平成26年5月27日  
公益信託内銀行ふるさと創造基金 運営委員長 金森義弘